

【豊能町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現をめざす学びの姿

めざす学びの姿：自分で課題を設定し、自分で考え、自分から取り組んでいく姿

自分の得意や苦手等を自己分析し、自己調整しながら学ぶ姿

上記の姿を実現するため、自分で探究課題を決定し、探究的な活動を行う授業を推進していく。授業を通じて、情報を収集する力、適切に判断する力を育成する。シンキングツール等も有効に活用し、自分の考えを整理・分析する力を伸ばしていく。教員は児童生徒の思考過程を見守りながら指導や支援をおこなう。また、共同編集機能等を活用し、他者と協働的に学ぶ姿や、自分の考えと他者の考えを比較すること等を通して、試行錯誤し、学びを深める姿を増やす。児童生徒の個々のニーズに寄り添った多様な学びの姿を実現していく。

2. GIGA第1期の総括

国の GIGA スクール構想を踏まえ、令和2年度に児童生徒分における914台の1人1台端末及び、全学校における通信ネットワークの整備をおこなった。学校現場における教科や学習場面に応じた、情報の収集・整理・発信・共有及び個別の学びツールとして、日常的な利活用を図った。導入時には全校で活用する方法を学ぶための研修を行い、授業での利用促進を進めてきた。また、情報教育担当者会・学力向上担当者会・外国語教育担当者会を開催し、各学校の好事例の交流を進めている。

ネットワークトラブル等の早期解決や、教員への支援を行い児童生徒の学習環境に支障が生じさせないことを目的にICT支援員を全学校に2週間に1回配置した。加えて自宅に通信ネットワークが整備されていない児童生徒については、モバイルルーターの貸し出しを行い、自宅での学習に支障が出ないように努めた。

一方で、必要なネットワーク速度が確保できていないため、利用場所・利用時間帯によって、ネットワークの接続が不安定で端末操作ができないという事案が起きた。ネットワークの不具合が生じると授業の中断を余儀なくされるため、授業での活用に二の足を踏む教職員もあり、授業内での活用の進み具合に差が生じているのが現状の課題である。この課題については、「ネットワーク整備計画」で示したようにネットワーク環境を改善し、再度教職員研修の充実を図る。児童生徒がICT機器を当たり前に出ることができるよう一つのツールとして使いこなし、学びを深める授業の充実を図っていく。児童生徒にとって、ICT機器は当たり前に出ることができるよう一つのツールとし、より学びを深められる授業の充実を図っていく。

3. 1人1台端末の利活用方策

令和7年度には、全児童生徒分に予備機を合わせた846台の端末更新を行う。さらに、令和8年度の学校の再編に合わせて、ネットワーク環境を大幅に見直し、国の推奨する速度帯域を確保していく。町独自の研究指定校にICT活用推進校を指定し、好事例や授業での取組みを広く町内全校へ発信するなど授業研修の充実を図る。さらに、タブレットドリルの導入など、個々の課題に応じて、児童生徒が主体的に学習に取り組めるための支援策を講じていく。